

2008 年度

科目名 美術史学実習Ⅱ	対象学科・学年 文学部文財2回生	担当者 小林 典子
授業テーマ 西洋美術研究入門～美術史を学ぶ楽しみ～		
授業の概要と目標 1. 美術史をこれから専攻する学生に対して、美術史のパースペクティブをつくる。 2. 直接にかかわっていく作品へのアプローチの方法をまなぶ。 3. 情報の収集および<カタログ・レゾネ>を作成する。 その他、美術館等の学外での実習を1～2回ほど実施する（すべての受講者は必ず出席のこと。またその際の交通費は各自負担）		
評価方法 授業への参加意欲や発表 40％ 期末レポート 60％		
テキスト 授業時に資料配布	著者	出版社
参考書 『美術史と美術理論』 その他、授業中に適宜指示	著者 木村三郎	出版社 放送大学教材
授業スケジュール・内容 1 開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション 2 美術史を学ぶたのしめる「作品記述」と「比較」 3 画家伝から見た絵画 4 様式から見た絵画 5 図像学から見た絵画（1） 6 〃 （2） 7 風景画を見る 8 絵画とコレクター：来歴から絵画を考える 9 展覧会カタログの意味 10,11,12 美術館見学Ⅰ 13,14,15 美術館見学Ⅱ		